

町のお財布を見てみよう!!

令和2年度決算について



一般会計決算

町では、住民のみならず納めていただいた税金をはじめ、国・県の補助金や借入金等を基に行政運営を行っています。

令和2年度に町がどれだけの費用をどのように使ったかを町の決算としてお知らせします。

一般会計は、歳入総額60億441万2千円、歳出総額53億9,569万6千円で、差引き6億871万6千円の繰越しとなりました。

主な要因として、前年度と比較して、歳入では、新型コロナウイルス感染症等の影響により、町税、使用料等が減額となりましたが、地方交付税、国庫支出金等が増額したことにより、全体として、13億7,152万6千円の増額となりました。

歳出では、特別定額給付金、新型コロナウイルス感染症対策等の増加により、全体として、12億698万4千円の増額となりました。

歳入総額
60億441万2千円
前年度比
13億7,152万6千円
(29.6%増)

町税	22億6,282万5千円
地方交付税、国庫支出金等	24億3,203万9千円
繰越金	4億4,417万4千円
町債	3億5,440万円
繰入金	3億2,998万1千円
寄附金、財産収入等	1億5,222万1千円
使用料、分担金等	2,877万2千円

新型コロナウイルス感染症等の影響により、前年度比1億943万8千円の減少(4.6%減)となりました。

新型コロナウイルス感染症対策に対する補助金、地域社会再生事業費の創設による普通交付税の増加により、前年度比12億372万円の増加(97.9%増)となりました。

新型コロナウイルス感染症対策寄附金等の増加により、前年度比2,502万6千円の増加(19.6%増)となりました。

歳出総額
53億9,569万6千円
前年度比
12億698万4千円
(28.8%増)

補助費等	15億1,740万8千円
人件費	8億6,869万円
普通建設事業費	6億9,879万8千円
物件費	6億4,005万4千円
繰出金	6億3,198万9千円
扶助費	5億2,519万5千円
公債費	3億4,736万3千円
積立金、投資及び出資金、貸付金	1億3,608万2千円
維持補修費	3,011万7千円

特別定額給付金事業等の増加により、前年度比9億1,443万6千円の増加(151.7%増)となりました。

中学校中規模修繕工事、道の駅ごか後背地の土地の購入等により、前年度比3億9,378万7千円の増加(129.1%増)となりました。

水道事業会計への出資金の減少等により、前年度比7,526万1千円の減少(35.6%の減)となりました。



財政は
大丈夫?

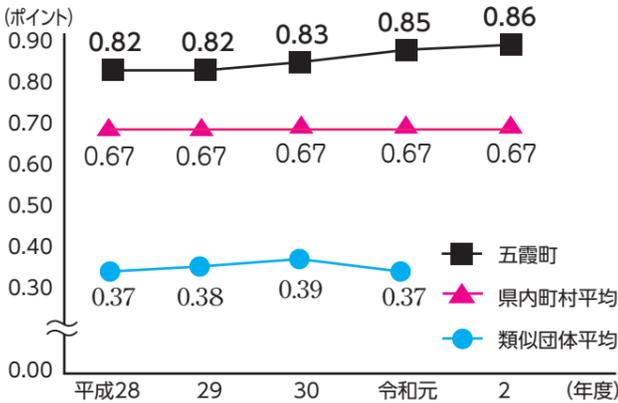
「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体の財政危機を早期に是正することを目的として、財政判断指標を公表することが義務付けられています。

本町においては、昨年度対比5千万円借金は増加しておりますが、自主的な財政改善努力が義務づけられる「財政の早期健全化団体(財政の黄色信号)」の基準以下となっております。

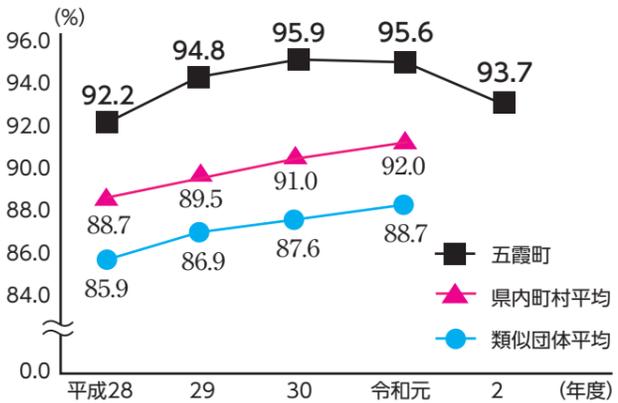
しかしながら、コロナ禍による経済活動の抑制等による税収等の減少、今後の人口減少や社会保障費・公共施設の更新費用等が増大していくことが中期財政見通しにおいて試算されており、極めて厳しい状況が考えられます。

引き続き、本町の財政状況や運営課題を明らかにし、持続可能な財政運営を行うための指針となる中期財政見直しを更新しながら健全な財政運営に努めてまいります。

財政力指数(3か年平均)
高いほど町が自力で調達できるお金が多い



経常収支比率
高いほど自由に使えるお金が少ない



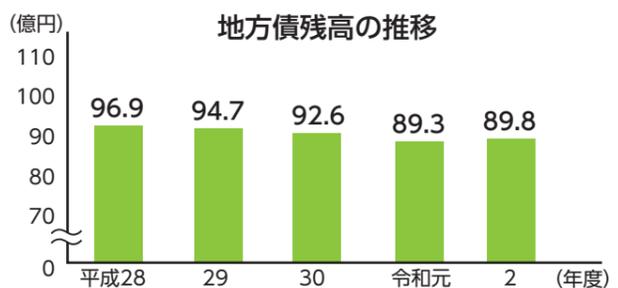
指標	数値	前年度比	内容
実質赤字比率(基準15.00)	赤字なし	—	一般会計の赤字の割合
連結実質赤字比率(基準20.00)	赤字なし	—	一般会計のほか、特別会計や企業会計までを含めた全会計の赤字割合
実質公債費比率(基準25.0)	9.5%	1.1%	年間の借金返済額の割合
将来負担比率(基準350.0)	49.7%	△3.9%	将来に負担が見込まれる借金の割合



町の貯金(基金積立金)は、道の駅ごか後背地の用地取得のための基金取り崩し等を行ったため減少し、総額は21億558万8千円となりました。



貯金は
どれくらい?



町の借金(地方債)は、中学校中規模修繕工事、環境浄化センター耐震補強工事、川妻浄水場設備工事等のため新たな借入れを行い、残高は89億7,963万4千円(前年度比5千万円増)となりました。



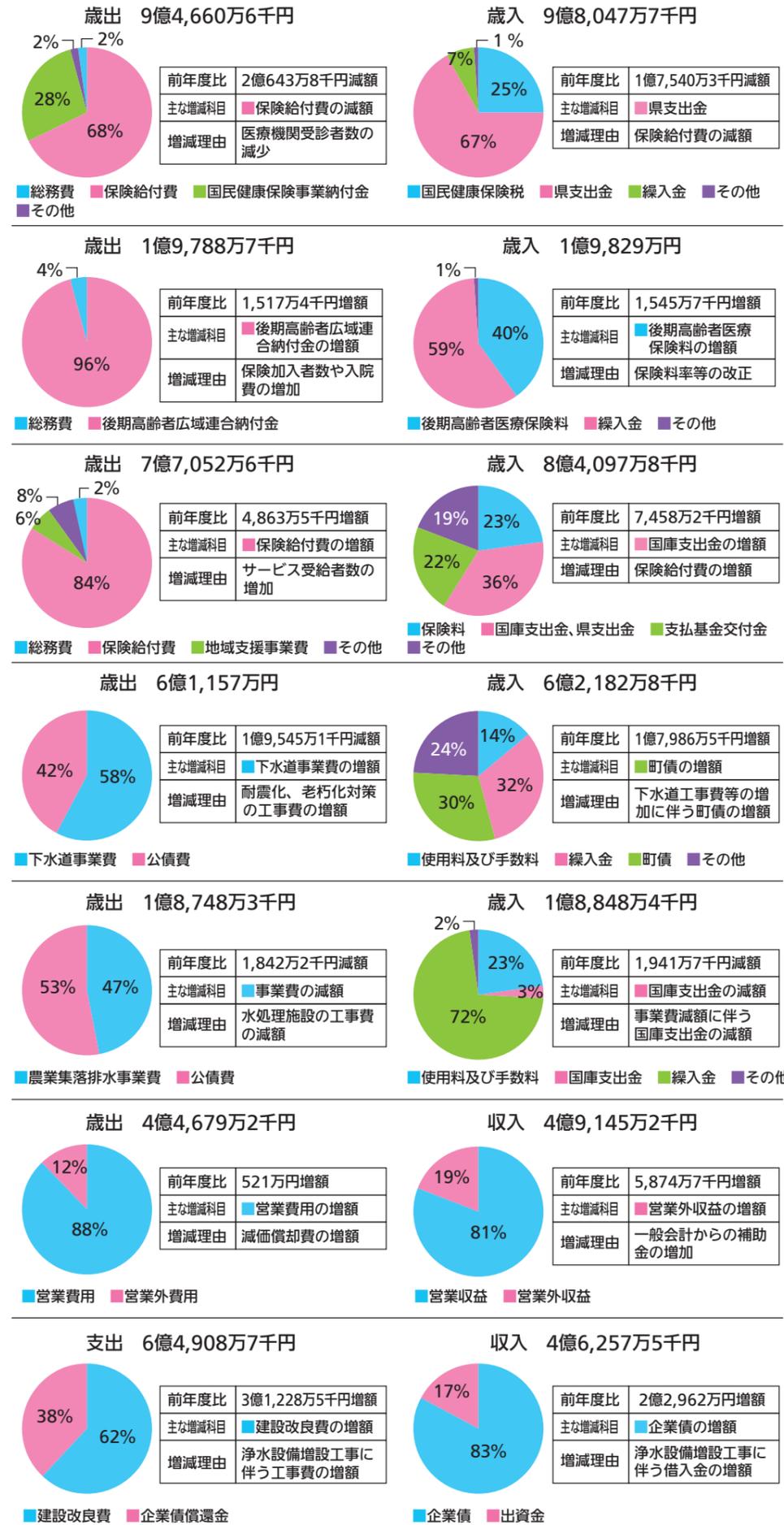
借金の
残高は?



特別会計決算

町では、一般会計の他に5つの特別会計と水道事業会計があります。各会計の歳入歳出額と前年度対比、主な増減理由等を公表します。

国民健康保険 特別会計
後期高齢者医療 特別会計
介護保険事業 特別会計
公共下水道事業 特別会計
農業集落排水事業 特別会計
水道事業会計 (収益的収支)
水道事業会計 (資本的収支)



第6次五霞町総合計画 第1期基本計画



令和2年度 主な事業

第1章 まちのかたち
ーグラウンドデザインー



○主な事業 『地域防災対策推進事業』
行政防災無線デジタル化更新工事など
事業費合計 8,217万円

第3章 まちのしくみづくり
ーソーシャルデザインー



○主な事業 『「道の駅ごか」振興事業』
道の駅ごかの拡充等のための土地購入など
事業費合計 2億8,517万円

第2章 ひとのくらし
ーライフデザインー



○主な事業 『生涯学習推進事業』
こども教室の開催など
事業費合計 996万円

第4章 まちのしくみ
ー行財政運営ー



○主な事業 『庁内電算システム整備事業』
職員利用のグループウェア及びメールシステムの入替など
事業費合計 2,851万円

第6次五霞町総合計画第1期基本計画の初年度として「キラリ☆五霞町く快適で居心地のよいまち」を実現するために、重点プロジェクト（五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略）をはじめとする3つのまちづくりデザイン（グラウンドデザイン・ライフデザイン・ソーシャルデザイン）と1つの分野（行財政運営）に代表される施策を展開しながら様々な事業を実施しました。

また、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受けた1年となりました。町では、新型コロナウイルス感染症対策事業を最優先事業として、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し、新型コロナウイルス対策事業を併せて実施しました。

第6次五霞町総合計画について
QRコード
令和2年3月に策定しました。詳細は町公式ホームページから閲覧することができます。

新型コロナウイルス感染症対策事業について
QRコード
取組内容は、広報ごか2021年4月号10・11ページに掲載しています。